

# 令和7年度 守谷市地域公共交通活性化協議会（茨城県守谷市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

## 地域の公共交通等の現況・課題／補助対象系統の位置付け

本市の公共交通は、南北に走るつくばエクスプレス（1駅：守谷駅）、東西に走る関東鉄道常総線（3駅：新守谷駅、守谷駅、南守谷駅）が市中央部の守谷駅で交差し、守谷駅を中心に民間路線バス（5路線）、コミュニティバス（2路線）、デマンド乗合交通（4台）が運行している。  
コミュニティバスとデマンド乗合交通を導入して交通空白地域の解消を図っており、バスの利用者は増加している。デマンド乗合交通に関しても利用者が増加しているが、予約を取得できない場合がある。

## 補助対象系統の需要・現況・課題／活用したデータ

当該系統は、市内の鉄道駅3駅のほか、路線バスやコミュニティバスとも接続し、市内外の移動を補完している。前事業年度と比較し、乗合率は上昇しているが、依然として午前中を中心に、病院やスーパーなどの移動需要が集中するため、お断りが発生している。近年の物価上昇などに伴い、運行費用が上昇している。  
活用しているデータ：デマンド乗合交通予約状況、お断り数集計

## 定量的な目標

令和6年度の年間利用者数を20,400人以上（令和5年度実績20,310人）とする。

## 目標を達成するために行う事業の今年度実施状況／来年度に向けた取組の検討

- ・デマンド乗合交通を継続的に運行し、コミュニティバスでもカバーしきれていない方についても公共交通を利用できるよう取り組んでいる。
- ・市内の高齢者サロンにて、コミュニティバスとデマンド乗合交通の利用方法・料金・疑問点などの解説を含めた公共交通利用講座を行った。
- ・9月下旬の1週間、市内事業者にも協力を依頼し、ノーマイカーウィークを実施して公共交通利用の機会創出を図った。

## アピールポイント

- ・商業施設と連携し、買い物金額に応じてデマンド乗合交通の割引券の発行を行っている。
- ・令和6年2月より、免許返納した方へモコバス・デマンド乗合交通共通の利用券を配布することで、免許返納及び公共交通利用の促進を図っている。
- ・警察署と連携し、免許返納した方にモコバス・デマンド乗合交通共通利用券を交付している旨のチラシを配布して、確実に事業内容が伝わるようにしている。
- ・高齢者サロンで公共交通講座を実施しているほかイベントに出展し、公共交通の利用促進等の啓発に努めている。
- ・市内のバス交通空白地帯を解消することに加え、市内の大型商業施設へのアクセスを確保することなどを目的に、実証運行バスを計画した。バスも併せて積極的に利用していただきお断りが減るよう周知等を行う。



面積	35.71 km <sup>2</sup>
人口（R7.4.1時点）	70,907人
15歳未満	10,011人
65歳以上	17,072人
高齢化率	24.1%

## 交通計画の計画期間

令和5年4月～令和9年3月

## 協議会開催状況

- （令和7事業年度に係るもの）
- ・第1回（令和7年5月30日）  
令和7年度守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について協議
  - ・第4回（令和7年12月22日）  
令和7年度守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について協議

# デマンド乗合交通運行状況(月別)

事業者名:4社合計

	運行日数	走行距離	運行距離	利用者人数			
				大人	障がい者	中学生以下	合計
令和6年10月	27日	9,841.0km	5,451.8km	1,609人 482,700円	241人 48,200円	1人 0円	1,850人 530,900円
令和6年11月	26日	9,189.7km	5,082.6km	1,443人 432,900円	223人 44,600円	1人 0円	1,666人 477,500円
令和6年12月	24日	8,573.0km	4,704.4km	1,395人 418,500円	204人 40,800円	0人 0円	1,599人 459,300円
令和7年1月	23日	8,177.0km	4,409.3km	1,234人 370,200円	191人 38,200円	1人 0円	1,425人 408,400円
令和7年2月	22日	8,447.0km	4,428.3km	1,293人 387,900円	185人 37,000円	2人 0円	1,478人 424,900円
令和7年3月	25日	8,068.9km	6,012.6km	1,428人 428,400円	214人 42,800円	3人 0円	1,642人 471,200円
令和7年4月	26日	8,929.8km	4,775.5km	1,390人 417,000円	227人 45,400円	3人 0円	1,617人 462,400円
令和7年5月	27日	8,939.0km	4,659.9km	1,358人 407,400円	221人 44,200円	0人 0円	1,579人 451,600円
令和7年6月	25日	9,323.0km	4,820.3km	1,412人 423,600円	213人 42,600円	3人 0円	1,625人 466,200円
令和7年7月	27日	9,653.0km	5,256.2km	1,497人 449,100円	231人 46,200円	3人 0円	1,728人 495,300円
令和7年8月	26日	9,129.0km	4,960.2km	1,434人 430,200円	209人 41,800円	11人 0円	1,643人 472,000円
令和7年9月	26日	9,339.0km	4,972.4km	1,452人 435,600円	215人 43,000円	1人 0円	1,667人 478,600円
合計	301日	107,609.4km	59,533.5km	16,945人 5,083,500円	2,574人 514,800円	29人 0円	19,519人 5,598,300円

総運行日数: 301日  
 総乗客数: 19,519人  
 運賃収入総額: 5,598,300円

# 守谷市内バス運行ルートマップ

(2020年4月改訂版)



<b>モコバス</b>	市役所・板戸井ルート (イオンタウン、守谷市役所、守谷高校経由) 守谷駅西口(のりば①)	みずき野・松並青葉ルート (みずき野、保健センター、松並青葉経由) 守谷駅東口(のりば②)
<b>関東鉄道バス (路線バス)</b>	守谷駅西口(のりば③) → 北守谷公民館(北守谷シャトル(急行バス))	守谷駅西口(のりば④) → 岩井/スターミナル
	守谷駅西口(のりば⑤) → 新守谷駅	守谷駅東口(のりば⑥) → 取手駅西口
	守谷駅西口(のりば⑦) → 美園前橋	
<b>つくばみらいコミュニティバス</b>	守谷駅東口(のりば⑧) → つくばセンター	守谷駅東口(のりば⑨) → つくばセンター
	つくばみらい(どなたでもご利用できます)	<b>深夜急行バス</b>

**モコバス**  
(もりやコミュニティバス)

**路線バス**  
関東鉄道(株)

**守谷駅バスのりば**

西口 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

中央西口 中央東口

つくばエクスプレス 守谷駅

土地区 八坂口

↑ 水海道

↓ 取手

**「モコバス」フリー降車区間**

この区間は、乗降所のない場所でも降車することができます。

**「乗り継ぎ券」でお得に乗り継ぎ!**

モコバス同士、またはモコバスと路線バスを、お得に乗り継ぐことができる「乗り継ぎ券」が全てのバス停で利用できます。 ※乗車、目的地まで乗車の方のみ

モコバスから別ルートへのモコバス **無料**

モコバスと路線バス **100円**

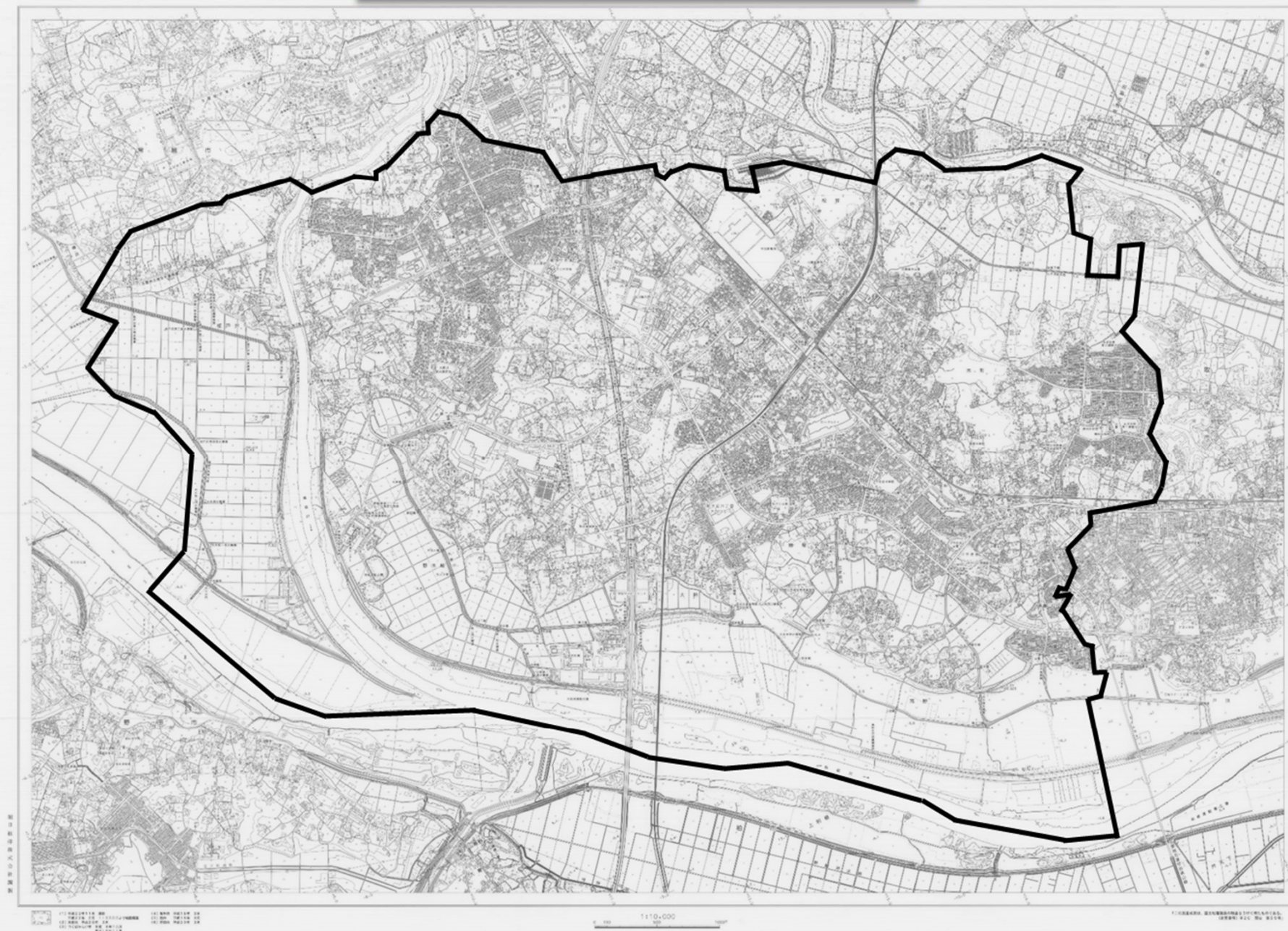
午前の便は  
① → ② → ③ → ④ → ⑤

午後の便は  
⑤ → ④ → ③ → ② → ①

の順に運行します

赤丸上の○マークの停留所は路線バスとモコバスの停留所が近いので、乗り継ぎに便利です

# 守谷市デマンド乗合交通運行区域図



守谷市に住民登録されており、  
1人で乗り降りできる方が  
ご利用対象

## 守谷市 デマンド乗合交通

守谷市地域公共交通活性化協議会

このステッカーが目印です!

# 守谷市 デマンド乗合交通

### デマンド乗合交通とは

事前に利用者登録を行った方が電話で予約し、利用者が指定する場所(自宅など)へ車が迎えに行き、目的地(医療機関、店舗、公共施設など)まで運行する乗合交通をいいます。

タクシー車両を使用しますが、タクシーではありません。

目的地に応じて、他の利用者と乗り合いで運行するため、到着時間は遅れることがあります。時間に余裕をもってご利用ください。

また、予約した目的地以外での降車はできません。



### 新規利用者登録

申請書に必要事項を  
記入し、受付に提出

1・2週間後に  
利用者登録完了通知書を  
郵送します。

### お電話でご予約

0297-44-7700

詳しくは裏面を  
ご覧ください。

### ご乗車

- ・他の利用者の方と乗合運行となります。
- ・時間に余裕を持ってご利用ください。

登録申請はこちら

- 守谷市役所 都市計画課
- ・保健センター
- ・文化会館
- ・中央公民館
- ・郷州公民館
- ・高野公民館
- ・北守谷公民館

### 利用対象者

守谷市に住民登録されており、1人で乗り降りできる方で  
・65歳以上の方  
・身体障がい者手帳、精神障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方

※同伴者として1のみ乗車可能(同伴者は年齢不問)

### 運行区間

守谷市全域(市外への移動は不可)  
※目的地として設定できるのは、医療機関、店舗、公共施設などです。

### 運行日

月～土曜日(日曜日、12月29日～1月3日は運休)

### 運行時間

8:10頃乗車～16:20頃降車 ※発着地により前後します。

★9:30までの運行の便は、利用予定前日までに予約が必要です(前日が運休日の場合はその前の運行日)。

(例)月曜日8時出庫の便の予約は、土曜日の17時まで

## 予約方法と利用料金

ホームページ  
からもご確認  
いただけます



### 受付予約

利用する日時の3運行日前～1時間前

予約センター電話番号

0297-44-7700

〈電話受付時間:運行日の8:30～17:00〉

こちらを  
お聞きします

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| ①名前      | ④目的地                  |
| ②乗車される日時 | ⑤同伴者の有無               |
| ③乗車場所    | ※帰りの便も同時に予約することが可能です。 |

### 利用料金

対象	料金
65歳以上の方	300円
身体障がい者手帳、精神障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方(年齢問わず)	200円(中学生以下は無料)
同伴者(利用者1人につき1人乗車可)	300円(中学生以下は無料)

その他  
利用上の注意

- 乗車の際は、車両が見える場所でお待ちください。
- 予約のキャンセルは、予約時間の30分前までに予約センターに連絡してください。
- 予約した時間を5分過ぎても予約者が乗車場所にいない場合、キャンセルとみなして次の目的地に向かいます。
- 乗車中の途中下車や目的地の変更はできません。
- 1日の利用回数は原則1人当たり2回までとします。
- 手荷物の持ち込みは、他の座席をふさがない程度の大きさのものとしてください。また、シルバーカーなどでトランクルームを使用する際は、予約時に申し出てください。
- 他のお客様の迷惑となるため、車内での携帯電話などによる通話、飲食、喫煙、飲酒後の利用はご遠慮ください。
- ペット同伴の利用は、ケージなどに入れて、他の座席をふさがないようにお願いします。
- 利用対象者が中学生以下の場合は、保護者の同伴が必要です。
- その他詳細はデマンド乗合交通利用規程を確認してください。なお、デマンド乗合交通利用規程の内容について、月に3回以上守られない場合には、利用停止の措置を講じる場合があります。

ご利用に関するお問い合わせ先(予約先ではありません)  
守谷市役所 都市計画課 電話 0297-45-1111 FAX 0297-45-2804

## 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年12月 日

協議会名: 守谷市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
守谷市地域公共交通活性化協議会(運行主体:守谷タクシー株式会社、京成タクシー茨城株式会社、小川交通株式会社、株式会社守谷福祉協会)	守谷市デマンド乗合交通 営業区域:市内全域 月曜から土曜日、祝日 運行時間:8:00~16:30 運賃:300円(障害者手帳及び療育手帳保持者は200円)	市内高齢者サロンにて高齢者の方を対象に、バス交通をご利用いただけるようバス交通を中心とした公共交通利用講座を実施し、市内公共交通網の周知と利用方法の普及に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標人数20,400人以上のところ、19,519人となり、未達となった。昨年度と比較し乗合率は上昇しているため、令和5年度に、労働時間等の改善基準を見据えて運行時間を調整したことによる乗車人数減少と考えられる。	午前中～昼時間帯のお断り件数が多い状態である。運行規則等見直しにより多くのお客様にご利用いただけるように検討する必要がある。

## 事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和7年12月 日

協議会名:	守谷市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	高齢者や免許返納者等の移動手段を持たない住民にとって、公共交通は日常生活を送る上で重要な役割を担っている。しかし、鉄道や路線バス、コミュニティバスでは、地域内の小さな移動を実現することは難しい。そのため、利用者のニーズに合わせた運行が可能であるデマンド乗合交通の運行を継続することで、他の交通手段とともに住民が安心して移動できる地域の交通を存続させていくことが必要である。

## 議案第2号

### 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

#### 1 令和8年度事業計画（案）について

##### （1）会議関係

令和8年度においても、適宜守谷市地域公共交通活性化協議会を開催し、市内の地域公共交通の維持・改善を図り、誰もが利用できる公共交通の実現を目指し、各種事業の展開を図ることとする。

##### （2）事業関係

###### ①モコバスの運行

路線バスを補完し、公共交通空白地帯を解消する守谷市コミュニティバス（愛称：モコバス）を、市役所・板戸井ルート及びみずき野・松並青葉ルートの2ルートにより運行する。

###### ②デマンド乗合交通の運行

地域内の移動を支える「小さな交通」を実現するため、守谷市全域において合計4台にて運行する。

###### ③利用促進策等

- ・ 路線バスとモコバス、モコバス同士の乗り継ぎ券の発行
- ・ 割引定期券（シルバーおでかけパス、キッズパス）の発行
- ・ 高齢者運転免許証自主返納事業の実施
- ・ 商業施設とタイアップした事業の実施（イオンタウン守谷・ジョイフル本田）
- ・ モコバス回数券の発行
- ・ モコバスのフリー降車制度の実施
- ・ つくばみらい市のコミュニティバス「みらい号」の守谷駅東口及び総合守谷第一病院への乗り入れ
- ・ Google マップ上へのモコバス運行情報の表示
- ・ 小学校・高齢者サロンでの公共交通利用促進講座の実施
- ・ 「みんな大好き！はたらくるま in イオンタウン守谷」にモコバス車両の展示（協力：関東鉄道株）（未定）
- ・ モコバス無料デーの実施

###### ④情報提供

広報もりや、市ホームページ、市情報発信アプリ「Morinfo（もりんふお）」への情報掲載等

⑤地域公共交通確保維持改善事業の認定申請及び事業評価

・デマンド乗合交通に活用している「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー補助)」に関する協議及び国への認定申請を行う。申請に基づき実施した事業に対する評価を実施する。

⑥第2次守谷市地域公共交通計画の策定

令和4年度に策定した「守谷市地域公共交通計画」(以下「第1次計画」という。)を、国土交通省の「地域公共交通計画のアップデートガイダンス」に基づきアップデートするとともに、地域の多様な輸送資源の活用を主眼とした新たな移動手段の導入等を含め、本市の実情に合った実効性のある地域公共交通の再構築に係る調査・検討を行う。その上で、その実現に向けた道筋を示す指針として、第1次計画を改定する形で次期計画の策定を行う。

⑦公共交通実証事業調査

実証実験として、実証運行バス「高野・同地・赤法花ルート」を継続運行し、乗降データを収集するとともに、モコバスの路線再編及び新たな移動手段の導入の検討、第2次守谷市地域公共交通計画の策定に活用する。

## 2 令和8年度収支予算（案）について

（歳入歳出予算）

第1 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ126,515,000円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、下表による。

（歳出予算の流用）

第2 歳出予算の款相互の金額は、必要に応じて流用することができる。

### （1）歳入

（単位：円）

款	項	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	説明
1	負担金	123,020,000	102,193,000	20,827,000	
	1 負担金	123,020,000	102,193,000	20,827,000	守谷市負担金
2	補助金	3,394,000	4,426,000	△ 1,032,000	
	1 補助金	3,394,000	4,426,000	△ 1,032,000	令和8年度地域公共交通確保維持改善事業(見込み)
3	繰越金	100,000	269,905	△ 169,905	
	1 繰越金	100,000	269,905	△ 169,905	繰越金
4	諸収入	1,000	95	905	
	1 雑入	1,000	95	905	利息
	合計	126,515,000	106,889,000	19,626,000	

### （2）歳出

（単位：円）

款	項	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	説明
1	運営費	685,000	427,000	258,000	
	1 会議費	595,000	357,000	238,000	協議会委員報酬(7,000円×17人×5回)
	2 事務費	90,000	70,000	20,000	インターネットバンキング基本料金、振込手数料、消耗品代等
2	事業費	124,710,077	104,451,751	20,258,326	
	1 事業費	88,166,636	10,000	88,156,636	モコバス・デマンド利用促進事業：5,000円 路線バス・モコバス乗継ぎ実証運行経費：69,636円 デマンド乗合交通経費：50,700,000円 地域公共交通再構築調査・検討等業務委託：10,460,500円 公共交通実証事業調査費(実証運行)：24,409,000円 高齢者運転免許証自主返納支援事業負担金：1,522,500円 バス待ち環境整備費：1,000,000円
	2 補助費	36,543,441	104,441,751	△ 67,898,310	モコバス運行経費：31,043,441円 モコバス車両リース代(2台、8年リース(R2~R9))：5,500,000円
3	予備費	1,119,923	2,010,249	△ 890,326	
	1 予備費	1,119,923	2,010,249	△ 890,326	
	合計	126,515,000	106,889,000	19,626,000	

## 報告事項

➤ 令和7年度予算の「会議費」が不足したため、次のとおり、「予備費」から充当しましたので、守谷市地域公共交通活性化協議会財務規程に基づき報告いたします。

## ■ 予算が不足した理由について

- ・ 当初予算で想定していなかった、業務発注プロポーザル審査委員会委員の報酬が発生したため。
- ・ 加えて、当初予定の3回を上回る協議会の開催により、今後も「会議費」が不足しますので、不足経費を「予備費」から充当することで対応いたします。

○守谷市地域公共交通活性化協議会財務規程 抜粋

(予算の流用及び予備費の充当)

第5条 会長は、歳出予算の流用をしたとき、又は予備費の充当をしたときは、直後の協議会の会議においてこれを報告しなければならない。

## 歳出

(単位：円)

款	項	予算現額 (A)	流用・充当額 (B)	流用・充当後の額 (A) + (B)	説明
1	運 営 費	427,000	14,000	441,000	
	1 会議費	357,000	14,000	371,000	予備費から充当14千円増
	2 事務費	70,000	0	70,000	
2	事 業 費	100,031,351	0	100,031,351	
	1 事業費	10,000	0	10,000	
	2 補助費	100,021,351	0	100,021,351	
3	予 備 費	2,010,249	△ 14,000	1,996,249	
	1 予備費	2,010,249	△ 14,000	1,996,249	会議費へ充当14千円減
合 計		102,468,600	0	102,468,600	

## 報告事項

➤ 実証運行バスの運行開始及び運行後の状況について報告いたします。

### ■実証運行バスの開始について

11月25日(火)～実証運行バス「高野・同地・赤法花循環ルート」の運行を開始しました。

なお、本実証事業につきましては、国土交通省 令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」「『交通空白』解消緊急対策事業」(3次公募)の採択を受け、11月20日付けで交付決定通知を受領しています。

#### 令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト

(令和6年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト))交付決定通知書(「交通空白」解消緊急対策事業)

・補助対象経費:7,591,000円 ・補助金の金額:6,727,342円(見込み)

※関東鉄道株との契約金額9,016千円(税込(うち初期費用(バス停・音声合成データ作成費ほか)2,467千円含む。)、運賃収入分を控除した金額を支払う。)の相当額を補助金で補てんする。



#### <別紙：採択事業一覧>

【「交通空白」解消緊急対策事業】(4件)

事業実施地域	事業実施主体	事業名
茨城県守谷市	守谷市地域公共交通活性化協議会	「交通空白」を解消する新たなコミュニティバスの実証運行
和歌山県広川町	和歌山県広川町	津木地区における地域おこし協力隊制度を活用した最寄りバス停までの送迎事業
愛媛県宇和島市	愛媛県宇和島市	地域公共交通リ・デザイン検討調査事業
熊本県熊本市	一般社団法人熊本市タクシー協会	城下まちナイトライン

#### 「交通空白」解消や地域の多様な関係者の「共創」による地域交通の維持・活性化の取組等を支援します!

～ 令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」「『交通空白』解消緊急対策事業」および「共創モデル実証運行事業」(3次公募)の採択事業について～

国土交通省では、全国の「地域の足」「観光の足」を確保するための「交通空白」の解消に向けた取組を後押しするため、令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(「交通空白」解消緊急対策事業・共創モデル実証運行事業)の3次公募を行い、「『交通空白』解消緊急対策事業」4件、「共創モデル実証運行事業」3件の事業を採択いたしました。

#### ●事業概要

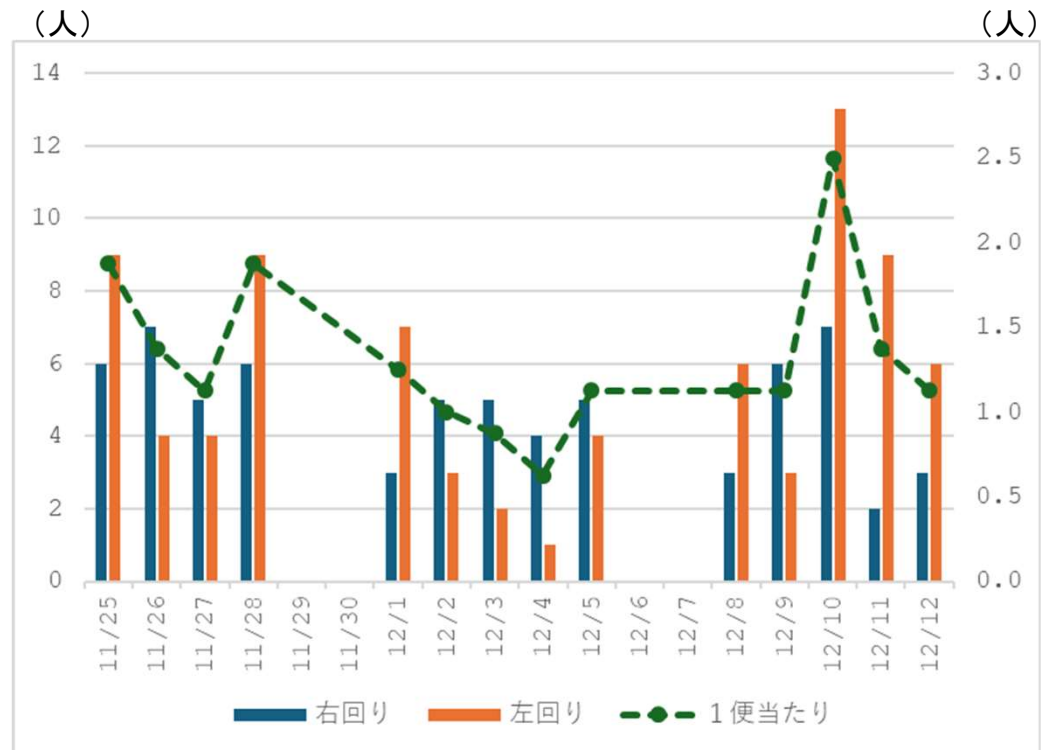
令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」は、喫緊の課題として取り組む「交通空白」の解消のほか、地域の多様な関係者が連携・協働した取組など、地域交通の維持・活性化を図る事業を支援するものです。(※採択事業一覧については別紙参照)

##### ① 「交通空白」解消緊急対策事業

「交通空白」の課題があると自治体が判断した地域において、公共ライドシェア・日本版ライドシェアや AI デマンド、乗合タクシー等の「交通空白」の解消に向けたサービスを実施するための仕組みの構築を支援する事業を対象とします。

## ■利用状況

運行日	右回り	左回り	1便当たり
11/25	6	9	1.9
11/26	7	4	1.4
11/27	5	4	1.1
11/28	6	9	1.9
12/1	3	7	1.3
12/2	5	3	1.0
12/3	5	2	0.9
12/4	4	1	0.6
12/5	5	4	1.1
12/8	3	6	1.1
12/9	6	3	1.1
12/10	7	13	2.5
12/11	2	9	1.4
12/12	3	6	1.1
合計	67	80	1.3



- 利用促進・アンケートの実施に取り組みます。
- 令和8年度も実証運行の継続を考えているため、次年度の予算を要求しています。
- モコバスの路線再編及び新たな移動手段の導入の検討、「第2次守谷市地域公共交通計画」への反映につなげていきます。

# 報告第2号 実証運行バスの状況等について

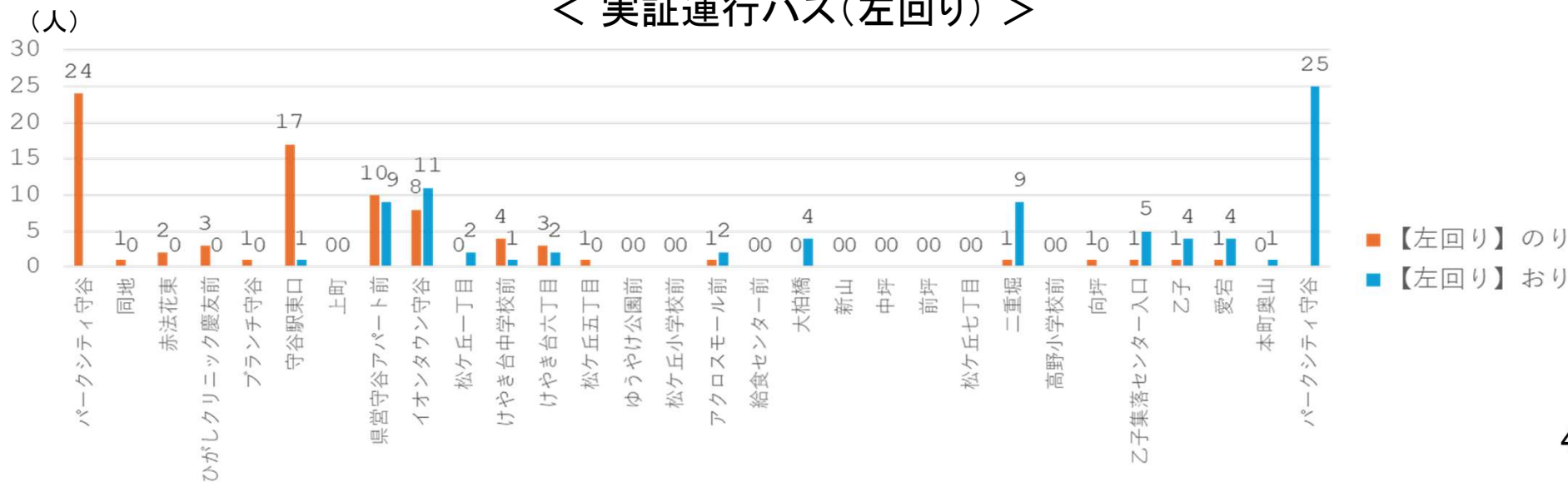


## ■バス停ごとの乗降者数(11/25~12/12)

### < 実証運行バス(右回り) >



### < 実証運行バス(左回り) >



**報告事項**

➤ 協議会発注の業務について、公募型プロポーザル方式により優先交渉権者を選定し、業務委託契約を締結しました。今後の進め方は、次のとおり予定しています。

■ 受託事業者名 株式会社長大 つくば市東平塚730

■ 履行期間: 契約締結日の翌日～令和8年11月30日

実施内容	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
活性化協議会 (※想定する開催時期)			R7第5回			R8第1回		R8第2回		R8第3回		R8第4回
1. 第1次計画のアップデート ①現状診断、②地域交通が目指す姿の設定 ③施策の設定、④KPI・目標値の設定、⑤評価内容・手順の設定	→											
2. ニーズの把握 ①関係団体へのヒアリング等 ②公共交通ワークショップ ③交通事業者等へのヒアリング等		内容 検討	アンケート			ワークショップ2回						
3. 地域公共交通の再構築調査・検討 ①交通結節機能の強化・再構築 ②モコバスの再編 ③既存デマンド乗合交通検討 ④新たな移動手段の導入可能性調査・検討	→											
4. 第2次計画の作成								→		計画 素案	パブコメ	修正 5

現行計画の評価

計画素案

パブコメ

修正 5

## 報告事項

➤ 広告事業者から、モコバス時刻表を広告事業(広告料を原資)に利用し、新聞折込で配布したいとの問い合わせがありました。

## ■問い合わせの概要

- 作成事業者 株式会社心美 (札幌市西区琴似3条4丁目3-18 高橋ビル2F)
- 掲載内容 モコバス・実証運行バスの時刻表
- 作成部数等 10,000部まで B3判サイズ 片面又は両面印刷
- 費用 協議会の負担はなし。(広告料にて制作・折込)
- 配布方法 新聞折込み。守谷市全域 読売・朝日・毎日・産経・東京新聞のいずれかの朝刊折込
- 折込予定時期 令和8年3月頃
- 備考 印刷物が守谷市(協議会)の発行ではない旨の注意書きを記載する。

